

1 単元名 関連づけて見る日本の特色

「関連づけて見る日本の特色」 (全6時間)

瑞浪市立瑞陵中学校 滝川 直樹

2 単元のねらい

前単元の学習をふまえ、日本の地域的特色を相互に関連付けながら、我が国の国土の特色を多面的・多角的に考察することができる。

様々な資料を関連付けたり、資料の内容を適切に取捨選択したりして、地域的特色を概略化してとらえる技能を身に付けることができる。

3 単元で培いたい学び方

5 観点(自然環境,人口,資源,生活・文化,地域間の結びつき)で学習した成果を相互に関連付け、世界的視野から見た日本の地域的特色と日本全体の視野から見た諸地域の特色を考察する学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容(3)イ 「様々な特色を関連付けて見た日本」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
日本の国土の特色に対する関心を高め、それをアの(ア)~(オ)の各項目で学習した成果を相互に関連付けて意欲的に追究し、我が国の国土の特色をとらえようとしている。	日本の国土に関する課題を見だし、アの(ア)~(オ)の各項目で学習した成果を相互に関連付けて意欲的に追究し、我が国の国土の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	アの(ア)~(オ)の各項目で学習した成果を相互に関連付けて我が国の国土の特色をとらえるために、地図や統計その他の資料を活用するとともに、日本の国土に関する課題を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	アの(ア)~(オ)の各項目で学習した成果を相互に関連付けてとらえた我が国の国土の特色を理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	5 観点(自然環境,人口,資源,生活・文化,地域間の結びつき)でとらえた日本の地域的特色を相互に関連付けながら、日本の特色を意欲的にとらえようとしている。	日本の国土に関する課題を見だし、5 観点(自然環境,人口,資源,生活・文化,地域間の結びつき)でとらえた日本の地域的特色を相互に関連付けながら、日本の特色を多面的・多角的に考察している。	5 観点(自然環境,人口,資源,生活・文化,地域間の結びつき)でとらえた日本の地域的特色を相互に関連付けて日本の特色をとらえるために、地図などの資料を活用するとともに、課題を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	5 観点(自然環境,人口,資源,生活・文化,地域間の結びつき)でとらえた日本の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	既習内容や経験を生かし、日本の特色を挙手して発言している。また、仲間との交流から、日本を一面から紹介することは誤解や思い込みを生み出すおそれがあることをノートに記述している。 【第1時 発言内容 およびノートの記述】  5 観点の中から2つ以上の観点を相互に関連付けながらとらえた日本の地域的特色を、オリジナルMAPにまとめている。 【第6時 完成したMAP】	外国人旅行者の日本への誤解を解くための説明を、既習の5 観点(自然環境,人口,資源,生活・文化,地域間の結びつき)の中から、2つ以上を関連付けながら考察することができる。 【第2時 ノートの記述】	外国人旅行者に日本のことを正しく理解してもらう旅行計画を作成するために、岐阜県の学習や前単元の学習から情報を適切に選択し、相互に関連付けて活用している。 【第3時 旅行計画の記述】  日本の地域的特色を表した複数の主題図を、共通性や類似性に着目しながら読み取り、日本の地域的特色の関連を説明できる主題図を選択している。 【第4時 作業の姿】	5 観点から見た日本の地域的特色を、2つ以上の観点を関連付けながら多面的・多角的に日本の特色を理解している。 【第5時 ノートの記述】

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
1 多様な特色を持つ日本	『様々な面からとらえた日本』の学習成果をふまえ、調和のとれた日本紹介を考える活動に意欲を持って取り組む。	<ol style="list-style-type: none"> <li>外国の友達に「日本は、どんな地域的特色を持った国ですか?」と聞かれたらどう答えるかを考え、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地の多い、細長い島国です。</li> <li>・米以外の食料の多くを輸入に頼っている国です。</li> <li>・工業が発達していて、経済力が豊かな国です。</li> </ul> </li> <li>みんなの意見を聞いて思ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の特色の考え方がずいぶん違っているな。</li> <li>・人によって考え方が全然違っている。外国の友達に聞いたら、迷ってしまいそうだ。</li> </ul> </li> <li>単元を貫く課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">日本は、どのような特色を持った国なのだろう。</div> </li> <li>日本の特色を、自然環境、人口、資源、生活・文化、地域間の結びつきの5観点から整理してみる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の特色は、見方によっていろいろな考え方ができるんだな。</li> </ul> </li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>&lt;アー&gt; 既習内容や経験を生かし、日本の特色を挙手して発言している。また、仲間との交流から、日本を一面から紹介することは誤解や思い込みを生み出すおそれがあることをノートに記述している。</p> <p>&lt;場面&gt;・学習活動1の後 ・授業後</p> <p>&lt;方法&gt;・発言内容 ・ノートへの記述</p>	<p>前單元までの学習プリント 地図帳 資料集</p> <p>援助：既習内容や経験をもとに、日本の特色を様々な角度（自然環境、資源、生活・文化、地域間の結びつき）からとらえるよう助言する。</p>
		日本には様々な特色がある。日本を一面だけからとらえて説明すれば、外国の友達に誤解を招いてしまう。日本のことを正しく説明するには、いろいろな要素を関連付けて、多面的にとらえていく必要があるな。		
2 外国人旅行者に日本をわかってもらおう	外国人旅行者の日本に対する誤解を解くための説明を、5観点から見た日本の地域的特色と関連付けながら考えることができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>前時のふり返りをする。</li> <li>外国人旅行者の「日本に対する誤解」をみてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では地震が毎日起きている国のように思われている（スウェーデンの人）</li> <li>・日本は中国の古都と同じように古い院や遺跡がどこにでもありと勘違いしている（中国の人）</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">外国人旅行者に、日本のことを正しく理解してもらうにはどうすればいいのだろうか。</div> </li> <li>外国人旅行者の誤解を解くには、どうしたらよいのだろうか。それぞれ考えてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スウェーデンの人へ...日本は環太平洋造山帯に属しているので地震の多い国です。でも、毎日起こるわけではありません。</li> <li>・中国の人へ...京都や奈良は、古い寺院や遺跡などが大切に保存されている歴史のある都市です。しかし、すぐ近くにある大阪や神戸はビルが立ち並ぶ近代的な都市です。</li> </ul> </li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>&lt;イー&gt; 外国人旅行者の日本への誤解を解くための説明を、既習の5観点（自然環境、人口、資源、生活・文化、地域間の結びつき）の中から、2つ以上を関連付けながら考察することができる。</p> <p>&lt;場面&gt;・学習活動3の後</p> <p>&lt;方法&gt;・ノートの記述</p>	<p>日本に対する誤解 前時のプリント</p> <p>援助：前時に整理した日本の特色（5観点）を具体的に示し、その中から観点を選んで外国人旅行者に対する日本の説明を考えるよう助言する。</p> <p>まとめを、「自分も他の地域・国に対して一面的にとらえ方をしているおそれはないか」という視点で書くようにする。</p>
		外国人旅行者の多くは、自分が滞在した期間のイメージで日本をとらえていると思う。正しく理解してもらうためには、いろいろな観点から説明を加える必要があると思う。京都や奈良しか見ていない外国人には、大阪や神戸などの都市の様子が分かるように説明することで、より正しく日本のことを理解してもらえるはずだ。		
3 日本旅行プランをつくってみよう	岐阜県の学習と前単元の学習とを関連付けながら、広い視野から外国人旅行者のための旅行計画をまとめることができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>前時のふり返りをする。</li> <li>本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">外国の人に日本のことを理解してもらうための旅行計画を立てよう。</div> </li> <li>岐阜県を中心にして、外国の人が1週間の旅行をする計画を立てよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・白川郷の合掌づくり集落を中心に、日本の世界遺産をめぐる旅行の計画を立ててみた。</li> <li>・岐阜城を中心に、歴史に関わる旅行を計画してみた。</li> <li>・岐阜県の産業を中心に、日本各地の産業の盛んなところをめぐる旅行計画を立ててみた。</li> </ul> </li> <li>作成した旅行計画の交流をする。</li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>&lt;ウー&gt; 外国人旅行者に日本のことを正しく理解してもらう旅行計画を作成するために、岐阜県の学習や前単元の学習から情報を適切に選択し、相互に関連付けて活用している。</p> <p>&lt;場面&gt;・授業後</p> <p>&lt;方法&gt;・旅行計画の記述</p>	<p>地図帳 資料集</p> <p>援助：岐阜県で取り上げたことと、日本で取り上げたことを関連付けながら計画を立てるよう助言する。</p> <p>訪れる人の年齢や期間などを意識しながら旅行計画を立てるようにする。</p>
		日本の産業の特色が多面的に理解してもらえるように旅行計画を立てることができた。友達と交流してみて、日本の特色を正しく理解してもらうための旅行計画にはいろいろあることが分かっておもしろかった。		

<p>4・5 関連づけと重ね合わせで見る日本の特色</p>	<p>5 観点から見た日本の地域的特色が関連を予想し、その関連を説明するために、複数の主題図を適切に選択することができる。</p>	<p>1 前時のふり返しをする。 2 前単元で使った様々な地図(主題図)を見てみよう。 ・地図を見比べてみると、広がり方が似ているものがあるな。それに、別々の地図に書いてあることが重なっているものもある。 ・書いてあることは違う地図だけど、何か関連がありそうな気がする。 3 本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本の地域的特色にはどのような関連があるだろう。</div> <p>4 日本の地域的特色で関連付けられるものを探してみよう。 ・「工業地帯」の広がっているところと、「平地」の広がりには関係がありそうだ。 ・「人口」が多いところは「平地」と重なっているな。また、「人口」が減少しているところは「山地」と重なっているところが多い。 ・「交通」が発達しているところは、「人口密度」が高いところだ。 ・「河川」の流れているところと、水田や畑などの「土地利用」には関連がありそうだ。 5 選択した主題図を、トレーシングペーパーを使って書き写す。</p>	<p>&lt;ウー &gt; 日本の地域的特色を表した複数の主題図を、共通性や類似性に着目しながら読み取り、日本の地域的特色の関連を説明できる主題図を選択している。</p> <p>&lt;場面 &gt; ・学習活動4の後</p> <p>&lt;方法 &gt; ・作業の姿</p>	<p>日本のおもな河川と平地 日本の気候区分と雨量図 日本の人口分布 日本の土地利用の割合 日本のおもな工業地帯・地域と生産額 日本の環境と産業地域 日本の高速交通網の変容</p> <p>援助：選択した複数の主題図について、共通性や類似性を確認するよう助言する。</p>
	<p>複数の主題図を重ね合わせる活動を通して、日本の地域的特色を複数の観点を関連付けながら多面的・多角的に理解している。</p>	<p>6 書き写した主題図を重ね合わせ、分かったことをまとめて発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">書き写した地図を重ね合わせて、日本の地域的特色の関連を見つけよう。</div> <p>・工業地帯は、平地を中心に海沿いに広がっていた。地図を重ねてみて、内陸にも工業のさかんな地域が広がっていることに気が付いた。 ・人口が多いところは、関東平野や濃尾平野といった大きな平地のあるところに重なっている。また、人口の減少しているところは、山間部に多かった。 ・河川の流れているところに沿って、水田が広がっている。米作りには水が欠かせないからな。 ・人口密度の高い所には、考えていたように鉄道や高速道路が通っていた。 7 まとめをする。</p>	<p>&lt;エー &gt; 5 観点から見た日本の地域的特色を、2つ以上の観点を関連付けながら多面的・多角的に日本の特色を理解している。</p> <p>&lt;場面 &gt; ・学習活動6の後</p> <p>&lt;方法 &gt; ・ノートの記述</p>	<p>援助：5 観点を具体的に示し、どの観点を重ね合わせて主題図を読み取っているのか確認するよう助言する。</p> <p>日本全体の視野から見て、分布の重なりをとらえるようにする。</p>
<p>地形、気候、人口、産業、交通などの特色には、それぞれ関連があることが分かった。何枚かの地図を重ね合わせてみると、その関連が本当によく分かったと思った。</p>				
<p>6 地域区分に挑戦</p>	<p>5 観点を相互に関連付けたMAPに表すことで、日本の地域的特色を多面的・多角的にとらえる方法を身に付けることができる。</p>	<p>1 前時のふり返しをする。 2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本の地域的特色を表すオリジナルMAPを作ろう。</div> <p>・観点が分かるようにタイトルをつける。 ・関連が分かりやすいように、工夫して表現する。 ・地域区分して、地域に名前をつける。 3 できあがったMAPから、どうして関連しているのかを考える。 ・大きな工業地帯は海沿いにある。内陸の工業地域には高速道路や鉄道が走っている。これらはともに原材料や製品を運びやすいところにあるんだな。 4 本時のまとめをする。</p>	<p>&lt;アー &gt; 5 観点の中から2つ以上の観点を相互に関連付けながらとらえた日本の地域的特色を、オリジナルMAPにまとめている。</p> <p>&lt;場面 &gt; ・授業後</p> <p>&lt;方法 &gt; ・完成したMAP</p>	<p>今までの学習プリント 今までの資料</p> <p>援助：5 観点のうち、どの観点を関連付けてMAPにまとめるのかを、前時までの追究をもとにするよう助言する。</p>
<p>オリジナルMAPに表してみると、5 観点(自然環境、人口、資源、生活・文化、地域間の結びつき)の関連がよく分かった。自分の作ったMAPで、友達に日本の特色を紹介してみたいな。</p>				